



おおばし

岩野田小学校 学校だより
令和7年9月1日 No.5

「おおばし」の由来：岩野田小学校の昔の名称が大橋小学校（明治14年）



40日間の夏休みが終わり、学校に元気な子どもたちの声や笑顔が戻ってきました。今年も熱中症警戒アラートなどが出される暑い日が続きましたが、全校児童が大きな事故等もなく「命」を大切にして40日間を過ごすことができましたこと、保護者の方々の見守りや細やかな支援のおかげです。また、先週から今週にかけて、子どもたちは、各自が取り組んだ「夏休みの宝物」について発表したり、仲間の宝物を見学したりしました。どの宝物も自分の思いがいっぱい詰まった作品となっており、「すごっ！」「きれい。」「やってみたい。」等の呟きも聞こえ、作った子の充実感あふれるうれしそうな表情をいっぱい見ることができました。宝物づくりにおいても、保護者の方のアドバイスや応援なしでは完成しなかったと思います。ありがとうございました。

岩野田小のみんながめざす姿は 平和につながる！

8月28日の全校集会で、8月6日に広島で行われた「平和記念式典」での小学校6年生の代表による「平和の誓い」の言葉を、全校児童に紹介しました。小学生代表の子が話した平和を願って行う行動は、前期に岩野田小学校が目指してきた考え方・行動と同じであることを伝えました。前期終業式まであと30日間です。「みんなのしあわせ」のために、全校で意識して取り組んでいきたいと思います。

多様性を認め、相手のことを理解し
ようとすること。一人一人が相手の
かんがえ より そい おもいやり こころ
考えに寄り添い、思いやりの心で
はなしあう
話し合うことができれば～↓
⇒ 「世界の平和につながる」

ぜんき
前期がんばってほしいこと
①あいさつをしよう
②相手の気持ちを考えて、
こうどう
行動しよう。
③自分の思いを伝えよう。

みんなのしあわせ
せかい へいわ
世界の平和

<全校集会で話したこと>

（省略）さて、今年の夏休み、私がニュースを見ていて「岩野田小学校が目指していることと同じだ！」と感じたことがあったので、お話をしたいと思います。

今年は、日本が大きな戦争をしてから、ちょうど80年が経った年です。7月9日のお昼の放送で、教頭先生が岐阜空襲の話をしてくださいましたね。約1か月後の、8月6日に広島、8月9日に長崎に原爆が落とされたことを知っている人も多いかと思います。毎年、広島や長崎では、もう二度と戦争をしないよう、平和祈念式典を行っています。その広島の式典の中で「こども代表」として、小学校6年生の子が話した「平和の誓い」の一部を、紹介したいと思います。

「平和の誓い」（一部抜粋）

～世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。～

私は、「一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合う」 この「平和への誓い」の言葉を聞いた時、まさに、岩野田小学校が目指していることと同じだ、と思ったのです。

前期の始業式の時に、頑張ってもらいたいこととして、ここにある3つのことを皆さんに話しましたね。②の相手の気持ちを考えて、行動しよう。③自分の思いを伝えよう。 この二つ、どうですか？ 先ほど紹介した「平和の誓い」と同じことだと思いませんか？ この②番③番を頑張ることが、岩野田小学校の「みんなのしあわせ」につながり、そして、「世界の平和」にもつながる事なのだ、と私は感じました。

今日から、前期の後半が始まりました。前期終業式の10月10日まで、学校に来る日は30日間です。もう一度気を引き締めて、322人の仲間と一緒に、「みんなのしあわせ」をめざして、頑張っていきましょう。

【お知らせ】

8月1日付で、林 和子 講師が、本校に着任いたしました。主に、2年1組の教科指導を中心に勤務いたします。よろしくお願いいたします。